

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	タンク車をドライブレンジのままサイドブレーキのみで停車し作業を開始したため、車両が前進した。
3. 体験した事例の中心的要素	車両を駐車する際、たとえサイドブレーキをひいていてもドライブに入っていれば車両は前進してしまうという意識が足りなかった。また、早く車両を駐車させ次の行動に移行したいという気持ちがあった。
4. 体験した事例の原因・理由	駐車に対する注意不足や車両そのものに対する不慣れにより順序だった手順の流れが確立できていなかった。次の行動へ急いで移行したいという気の焦りがあった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年12月8日 午後3時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：比較的交通量は少ないが抜け道として利用されている車線のない市道上
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	転倒、(機器等)巻き込まれ、はさまれ、交通事故
7. 事例体験時の活動	警防調査
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：車両を道路上に停車させ、体勢を変えて調べものをしようとした際
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	はい
・悩み事があった。	はい

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が濡れたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--



シフトレバー「D」のままで、サイド
ブレーキのみで停車した状態
後部に置かれた関連資料を確認
するため振り返っている様子

車両を駐車させるには、(オートマチック車の場合)シフトレバーをPレンジに入れ、サイドブレーキをしっかり引くことが当然であるが、気持ちの焦りと別の動作を同時に行おうとしたために発生した事案である。